



## 今宿 コミュニティガーデン

今宿コミュニティガーデン友の会

組織形態：任意組織

<http://imacom.org/>

- ・市有地の利活用について住民が自ら提案し、ワークショップを重ねながらコミュニティガーデンの使い方やゾーニングを決定。
- ・芝生管理や花壇づくり、農作物栽培に取り組むとともに、サマーフェスタや収穫祭等、様々なイベントの企画・運営も行い、地域コミュニティの形成や広がりにも貢献。

遊休地を農園として活用し、3世代交流によるまちづくり  
～今宿コミュニティガーデン～

押しポイント

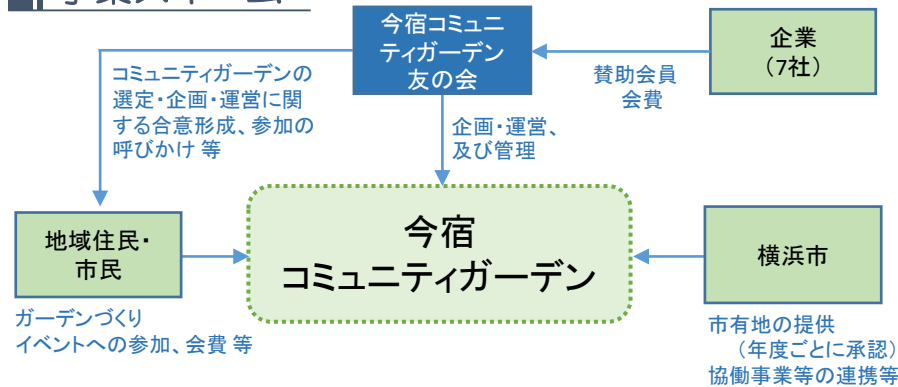
コミュニティガーデンの選定・企画・運営を  
住民自ら責任をもって取り組んでいる

# 今宿コミュニティガーデン友の会

平成16年に旭区の呼びかけで横浜市所有の未利用地利用を地域で検討することとなり、住民からのコミュニティガーデンとしての利用提案が承認されました。平成17年より、検討メンバーによる準備が始まり、一般公募で管理運営委員会が設置され、役員・規約などを決定し、5月に「今宿コミュニティガーデン友の会」が発足しました。

その後、草取り・石や根の除去・造成作業などに取り組み、ワークショップを積み重ねてコミュニティガーデンの使い方やゾーニングを決定しました。住民主体で農作物の栽培に取り組むとともに、サマーフェスタや収穫祭など、様々なイベントの企画・運営も行い、地域内外から多くの個人・団体が参加する活動へと発展しています。

## 事業スキーム



コミュニティガーデンの事業スキームでは、横浜市が所有する未利用地を使用し、今宿コミュニティガーデン友の会が中心となり、住民自ら整備・企画・運営に取り組んでいます。横浜市は、住民の自主性を重視し、協働事業や助成事業等の活用提案など、活動の側面支援を行っており、公民の良好な関係が構築されています。

# コミュニティガーデンの概要

約600㎡のコミュニティガーデンの基本設計は、地域の議論の結果、斜面地となった地形を考慮し、芝生のイベントゾーン、ハーブゾーン、フラワーゾーン、学習体験ゾーン、果樹ゾーン、堆肥マスに棚田のように分割されています。



## 実績等

### 実績

- ・毎年秋に開催される収穫祭では、参加者が150人を超えています。
- ・第38回横浜市社会福祉大会にて、地域福祉の向上と発展に寄与したことが認められ、横浜市社会福祉協議会から感謝状が授与されました。
- ・平成28年度の収支内訳は以下の通りとなっており、助成金等に頼らない自立的な運営が行われています。

収入	金額	支出	金額
個人会員(28名)会費	28,000円	事務費	43,565円
賛助会員(企業)会費	60,000円	材料費	46,271円
事業収入	45,979円	事業費	44,143円
合計	133,979円	合計	133,979円

## 事業主体からのメッセージ

・『3世代交流による顔の見えるまちづくり』をめざし「遊休公有地を活用」して取り組み15年経ちました。今では【まちな風景の一部】のようになりました。これから始めようという人達の参考になれば嬉しいです。